

9月の分散登校時におけるオンライン学習に関するアンケート調査結果について

1 主旨

令和3年9月3日から10日の分散登校期間中に実施したオンライン学習の効果を検証し、今後のオンライン学習やICTを活用した教育を充実させるため、児童・生徒、教員及び保護者を対象にオンラインによる意識調査を10月に実施したので報告する。

2 分散登校時のオンライン学習の概要

(1) オンライン学習の日程

令和3年9月3日（金）から10日（金）までの6日間

(2) オンライン学習の主な内容

- ①T e a m s やZ o o mによる授業のライブ配信
- ②ロイノートによる双方向のやりとり
- ③Q u b e n aによるドリル学習

(3) オンライン学習の様子



朝の会での校長講話



オンライン学習 児童への説明



オンライン環境の提供

3 アンケート調査の概要

(1) 調査手法

児童・生徒、教員、保護者それぞれに対するオンライン学習に関する質問について、オンラインのアンケートフォームへ入力する手法で回答する形式とした。

(2) 調査期間

令和3年10月5日（火）から10月15日（金）まで（児童・生徒は29日まで）

(3) 回答者数

- ①児童・生徒 42,825人
- ②教員 2,004人
- ③保護者 14,378人

4 アンケートの質問と調査結果

(1) 質問内容

児童・生徒、教員、保護者それぞれに、「オンライン授業でよかったこと」「オンライン授業で困ったこと」「今後オンライン授業に期待すること」について、予め設定した選択肢の中から当てはまる項目を選ぶ（複数回答可）形式で実施した。また、自由意見欄も設け、その他気付いたことを記載できるようにした。

(2) 調査結果等

①調査結果

別紙「オンライン学習に関するアンケート調査の結果について」による

②成果と課題

児童・生徒、教員、保護者のアンケートから、コロナウィルスの不安がなく安心して学べたことを評価する声が多かった。また、i P a dの操作にはあまり不安なくオンライン学習に取り組んでいることも分かった。

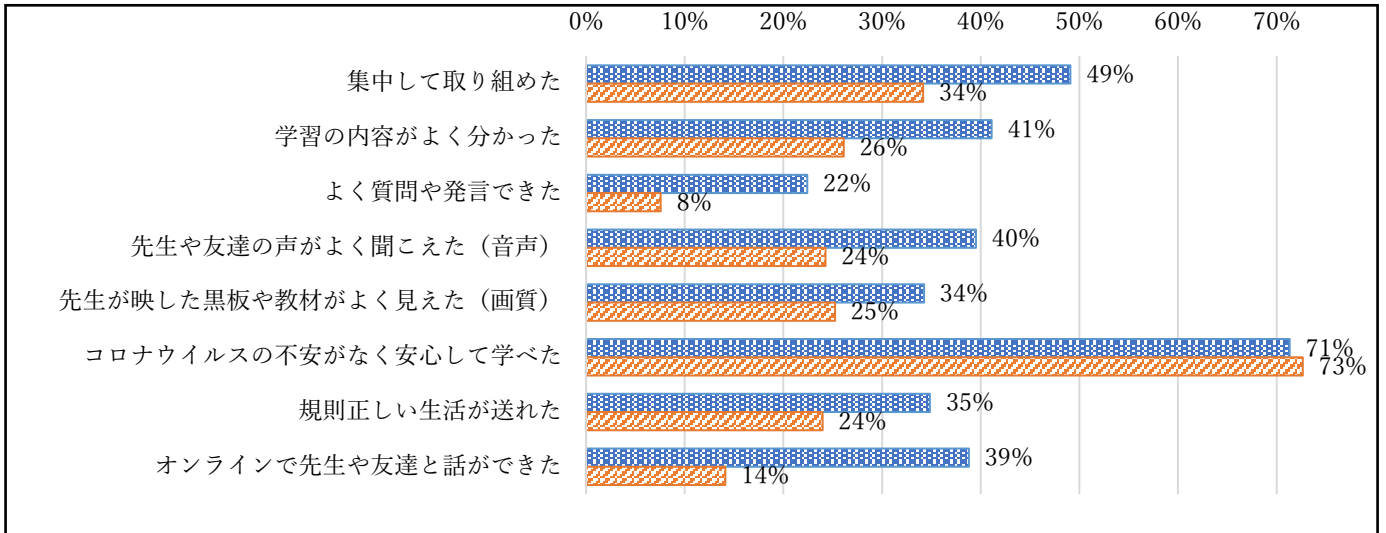
一方で、映像や音声途切れた場面が多く見られており、環境設定や機器の整備が必要である。また、教員や保護者からは、質問や発言、学び合いの機会の確保や一人ひとりの学習状況の丁寧な把握が求められており、引き続き教員のICT活用指導スキルの向上、児童・生徒の考えや学習状況を適切に把握することが必要である。

小学校

中学校

(1) 児童・生徒

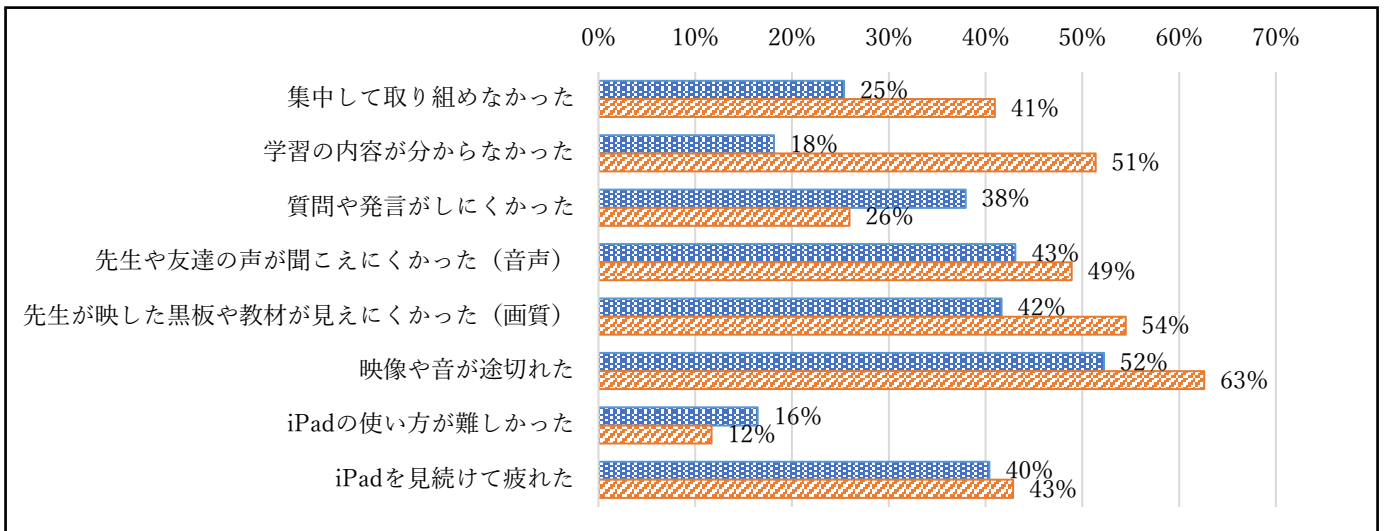
①オンライン学習でよかったことはどのようなところですか



【調査結果から分かったこと】

- 小・中学生ともに「コロナウイルスの不安がなく安心して学べた (小 71% 中 73%)」が一番高く、児童・生徒は教員や友達とつながったことを実感したと考える。
- 小学生の方が肯定的な回答が多く、オンライン学習への満足度が高い。

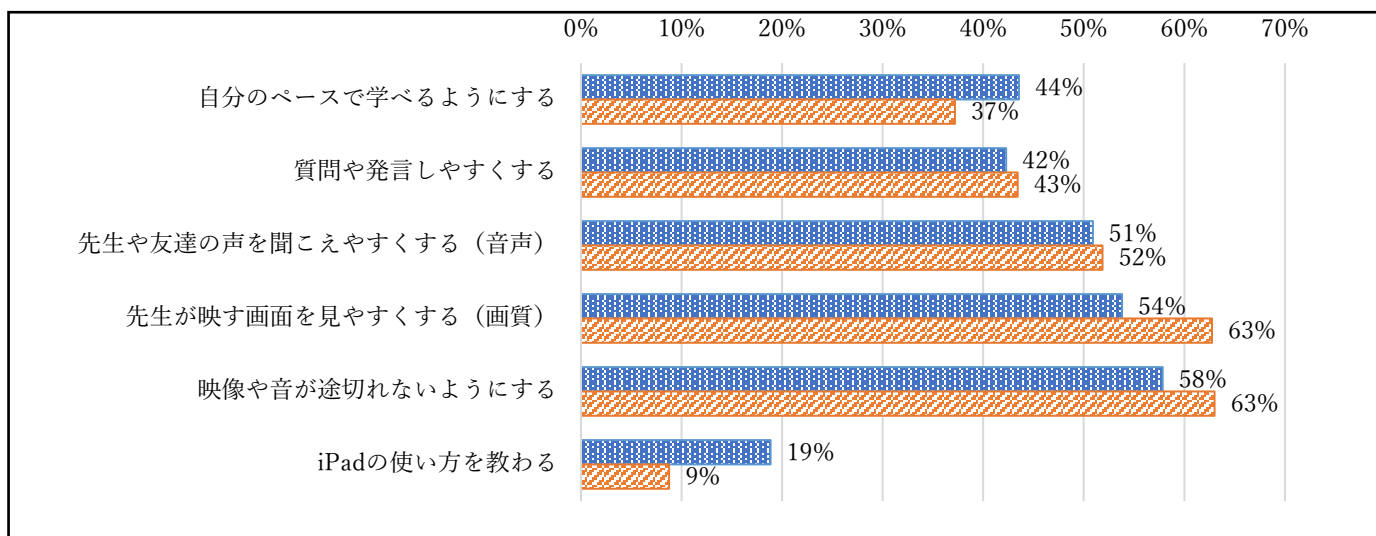
②オンライン学習で困ったことはどのようなところですか



【調査結果から分かったこと】

- 小・中学生ともに「先生や友達の声が聞こえにくかった (小 43% 中 49%)」、「先生が映した黒板や教材が見えにくかった (小 42% 中 54%)」、「映像や音が途切れた (小 52% 中 63%)」が高く、映像や音声の配信状況に問題があったことが分かる。
- 「学習の内容が分からなかった (小 18% 中 51%)」「集中して取り組めなかった (小 25% 中 41%)」は中学校で高く、オンラインで分かりやすく授業をすることに課題がある。

③今後、オンライン学習をよりよくするためにどのようなことを期待しますか



【調査結果から分かったこと】

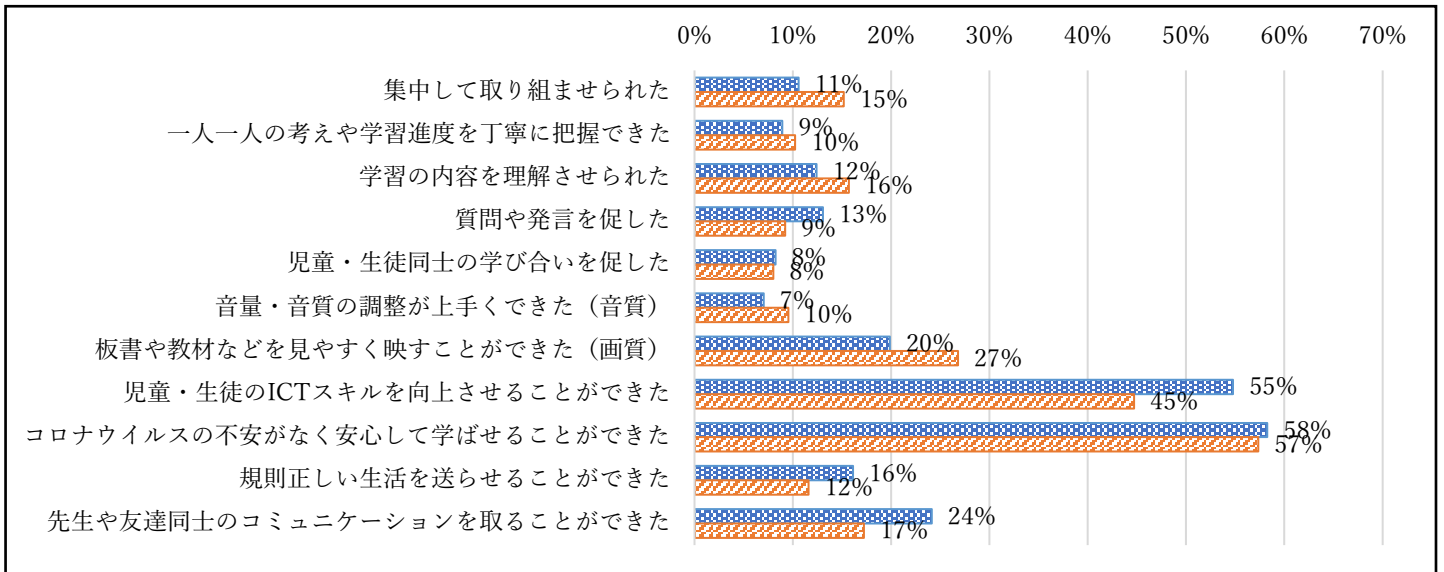
- 小・中学生ともに「先生や友達の声聞こえやすくする (小 51% 中 52%)」、「先生が映す画面を見やすくする (小 54% 中 63%)」、「映像や音が途切れないようにする (小 58% 中 63%)」が高く、映像や音声の配信に課題がある。
- 「iPadの使い方を教わる (小 19% 中 9%)」が一番低く、児童・生徒の操作スキルやiPadの操作性に課題は見られない。

※児童・生徒のその他の意見

- ・オンライン学習はこれまでにない新しい取組みで、楽しかった。
- ・友達の見え方や先生の声が家からでも聞こえ、つながっていることが分かり安心感があった。
- ・学校における対面の授業の方が先生や友達と話ができて学びやすいと思った。
- ・音が聞こえづらかったり、映像が途切れたりしていたから、普通に登校した方がいいと思った。

(2) 教員

①オンライン学習でよかったことはどのようなところですか

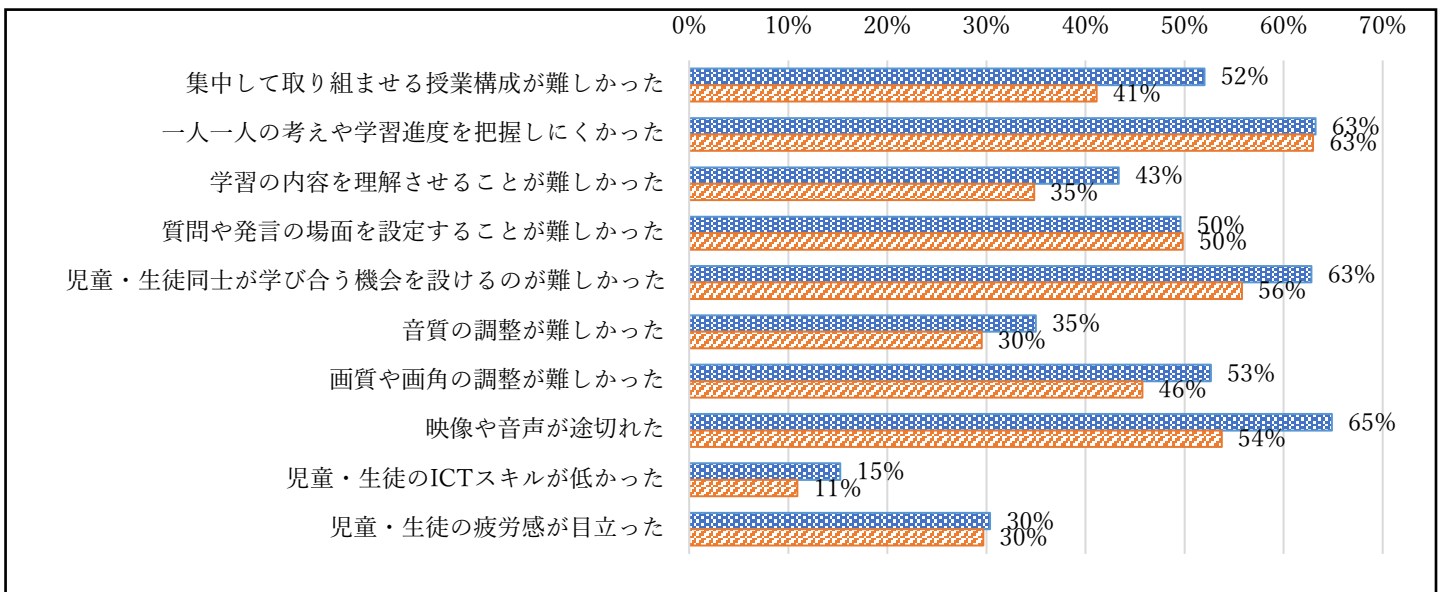


【調査結果から分かったこと】

○小・中学校ともに「コロナウイルスの不安がなく安心して学ばせることができた (小 58% 中 57%)」、「児童・生徒のICTスキルを向上させることができた (小 55% 中 45%)」が高く、安心・安全及び、ICTスキルの向上についての効果を評価していると考えられる。

○小・中学校ともに「学習の内容を理解させられた (小 12% 中 16%)」等の項目は高くない。

②オンライン学習で困ったことはどのようなところですか

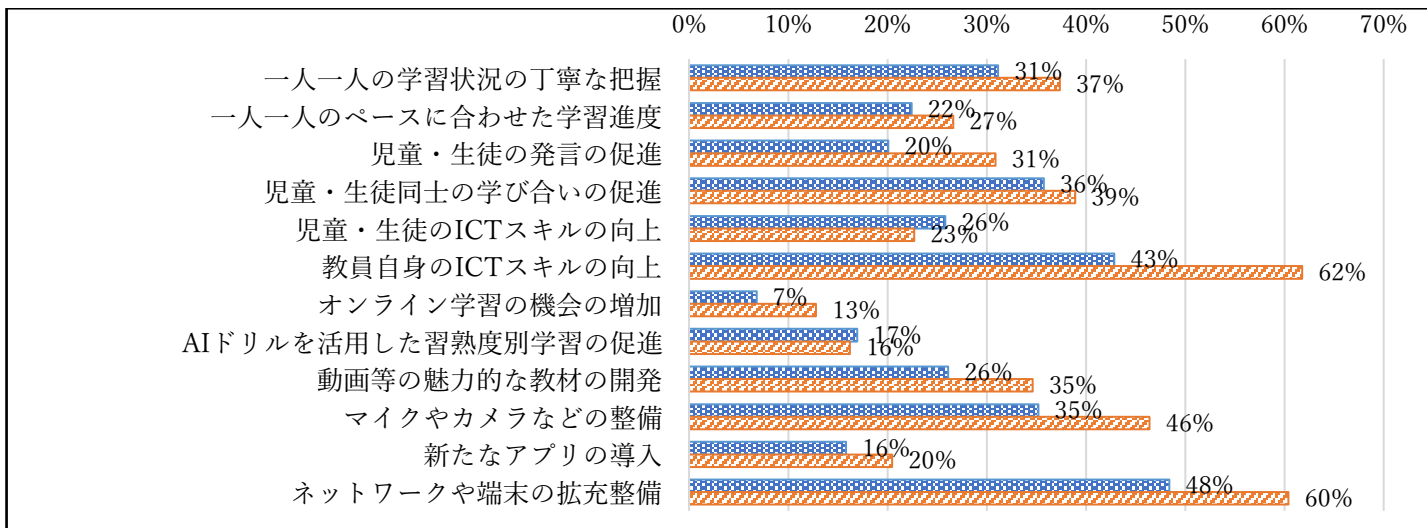


【調査結果から分かったこと】

○小・中学校ともに「映像や音声が届かなかった (小 65% 中 54%)」が高く、映像や音声の配信状況に問題があったことが分かる。

○「集中して取り組ませる授業構成」、「一人一人の考えや学習進度の把握」、「質問や発言の場面の設定」、「児童・生徒同士の学び合い」に関する項目について、「よかったこと」の回答が少ない分、「困ったこと」の回答が多くなっており、オンライン学習の質の向上に課題がある。

③今後、オンライン学習をよりよくするためにどのようなことを期待しますか



【調査結果から分かったこと】

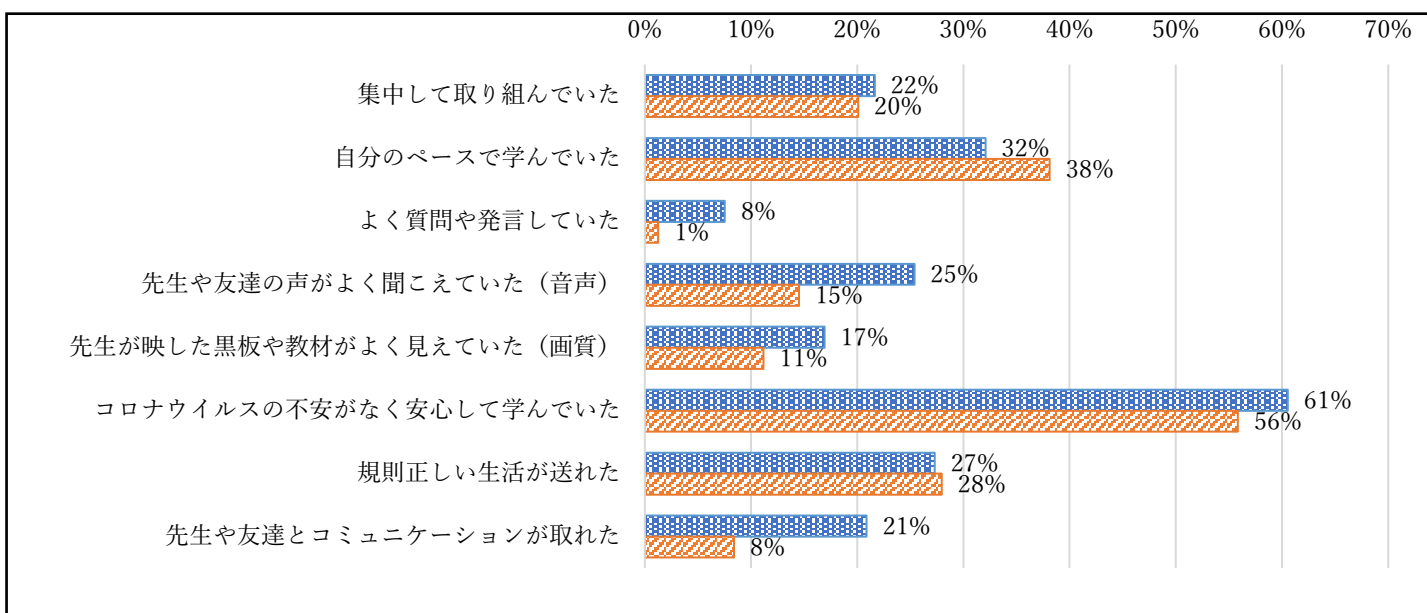
○小・中学校ともに「教員自身のICTスキルの向上（小 43% 中 62%）」、「ネットワークや端末の拡充整備（小 48% 中 60%）」が特に高く、教員のICT活用指導スキルを高めることと共に映像や音声とぎれない環境を設定することへの意識が高い。

※教員のその他の意見

- ・オンラインによる授業は、不登校児童・生徒への支援がしやすかった。
- ・小学校低学年にとって、操作スキルや学習理解の面で、オンライン学習を滞りなく実施するには難しいものがあった。
- ・オンライン授業を行うのであれば、対面とのハイブリッド型ではなくオンラインのみの方がよかった。

(3) 保護者

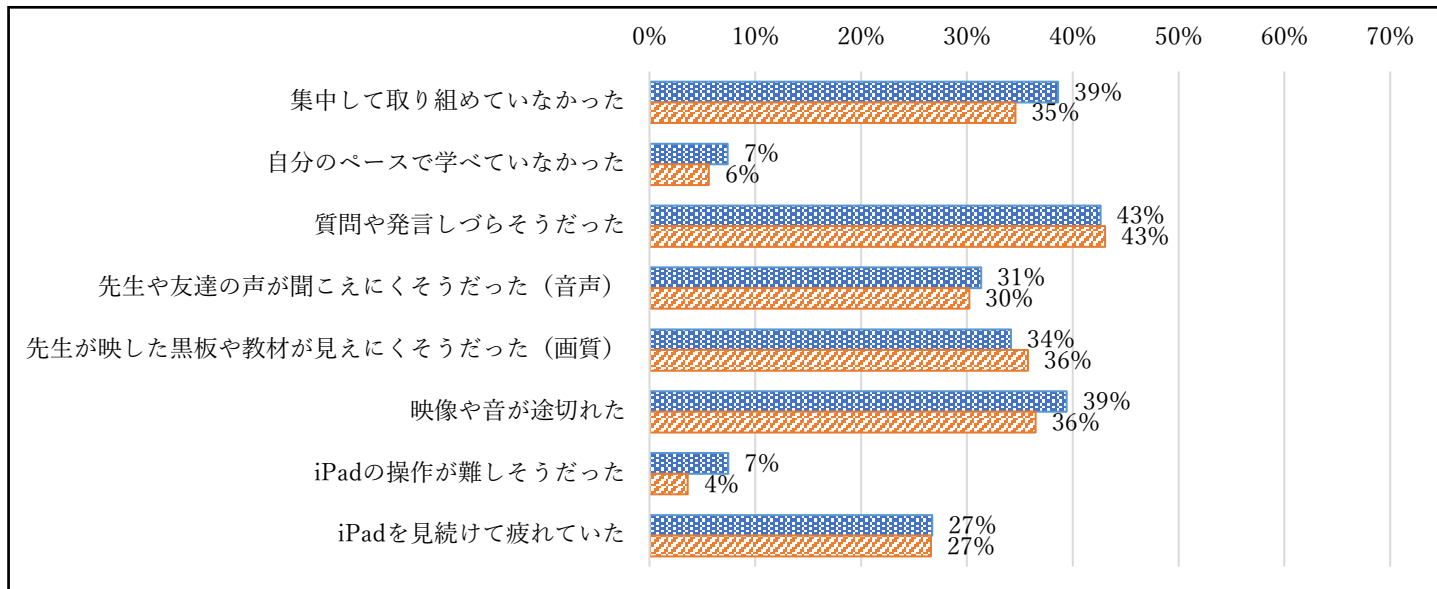
①オンライン学習でよかったことはどのようなところですか



【調査結果から分かったこと】

○小・中学校ともに「コロナウィルスの不安がなく安心して学んでいた（小 61% 中 56%）」が一番高く、子どもが教員や友達とオンラインでつながったことを評価していると考える。

②オンライン学習で困ったことはどのようなところですか

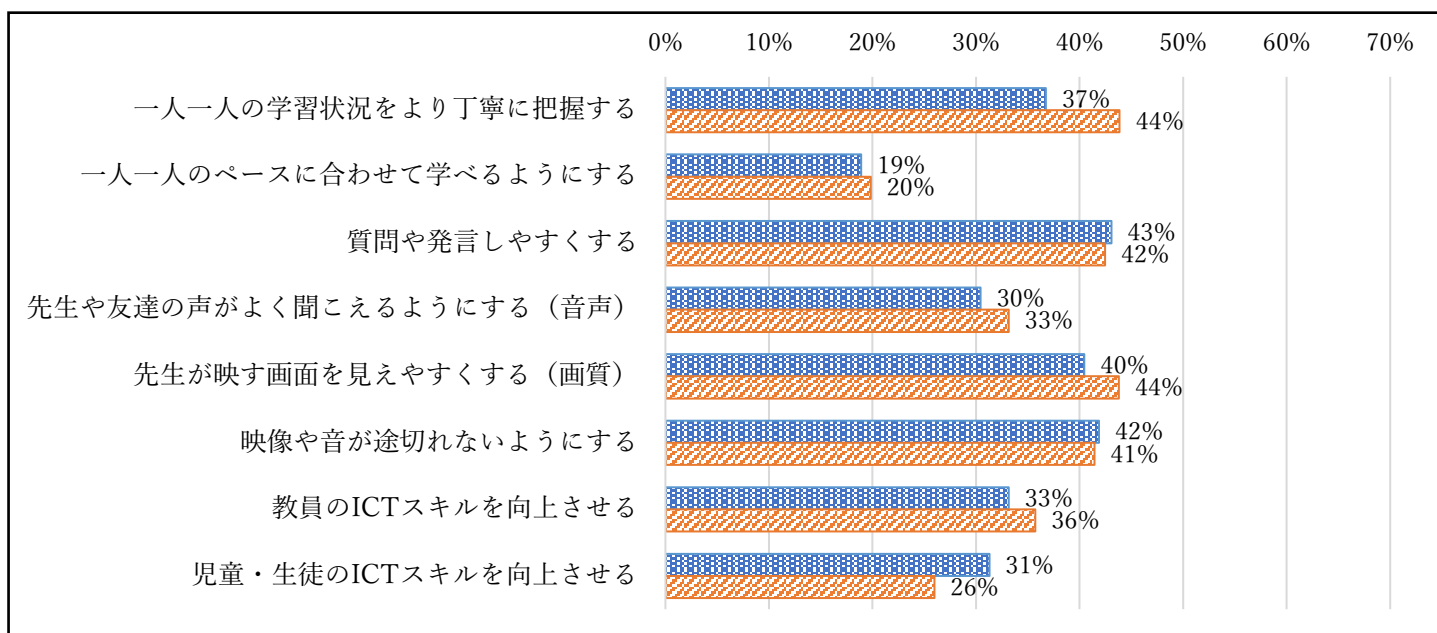


【調査結果から分かったこと】

○小・中学校ともに「集中して取り組めていなかった（小 39% 中 35%）」、「質問や発言しづらそうだった（小・中 43%）」が高く、オンライン学習の質を高めることに課題がある。

○小・中学校ともに「映像や音が途切れた（小 39% 中 36%）」が高く、映像や音声の配信状況の問題を保護者も認識していることが分かる。

③今後、オンライン学習をよりよくするためにどのようなことを期待しますか



【調査結果から分かったこと】

- 小・中学校ともに「先生が映す画面を見やすくする（小 40% 中 44%）」、「映像や音が途切れないようにする（小 42% 中 41%）」が高く、映像や音声の配信への要望がある。
- 「一人一人の学習状況をより丁寧に把握する（小 37% 中 44%）」、「質問や発言をしやすくする（小 43% 中 42%）」が高く、適切に学習状況を把握すること、オンライン学習の質を高めることに課題がある。

※保護者のその他の意見

- ・親も授業参観ができ、学校の様子や子どもの学習状況が分かってよかった。
- ・不登校で長く教室に入れていなかったが、オンライン学習に毎日アクセスすることができた。
- ・これまでの授業をオンラインで配信するのではなく、オンライン用の授業を新たに作らないと難しいと思う。